

プリンティング札幌

[Website] <http://sapporo.print.or.jp/>

[E-mail] info@sapporo.print.or.jp

令和2年度3月定例役員会報告 …………… P2

令和2年度下期北海道地区印刷協議会開催 …… P3~7

令和3度札幌支部総会の中止について …………… P7

CSR認定制度第33期ワンスター認定募集のご案内 …… P8

全印工連事業承継支援センターのご案内 …… P9~10

編集後記 …………… P11

[表紙写真] 4月エゾノリュウキンカ 音更町
 (有)さっぽろフォトライブ

VOL.
544

令和3年4月10日発行



HOKKAIDO
PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION
SAPPORO BRANCH

発行所 / 〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル4階
北海道印刷工業組合札幌支部 TEL.011-867-9305

発行人 / 支部長 岸 昌洋

編集人 / 教育研修事業委員長 西山 真

北海道印刷工業組合札幌支部 2021年度3月定例役員会報告

[日時]2021年3月15日(木) 13:30~

岸支部長、西山副支部長、前田副支部長、岡部副支部長、矢吹委員長
事務局 五十嵐

委員会報告／各委員長

- ・経営革新・マーケティング委員会／岡部委員長
現状報告。
- ・青年部委員会／矢吹委員長
来年度の活動方針について検討。来年度も「パターンランゲージ」を中心に活動していく。
4月24日に大分にてゼロ会議開催予定。
2022年2月12日にプリントネクスト開催。今年度中にリーダーを選出予定。
- ・組織・共済委員会／前田委員長
来年度の活動について。
- ・教育・研修委員会／西山委員長
プリンティング札幌4月号原稿について

月次決算報告／五十嵐

- ・2020年度決算について

その他

- ①令和3年度札幌支部通常総会の開催について
コロナウイルス感染症感染予防対策として書面決議による開催を予定。
- ②今後の会議予定
2020年度分監査・・・4月2日(金) 11:30~
4月定例役員会(議案審議)・・・4月2日(金) 13:30~

スピードと品質を両立させ
環境にも配慮した
LED-UV印刷システムを導入!

 株式会社 **東和プリント**

〒060-0006
札幌市中央区北6条西14丁目1番地1ユー・アイN6ビル
TEL 011(208)5535 FAX 011(208)5538

FUJIFILM

富士フイルム<感圧紙>

エム・ビー・エス株式会社

札幌営業所
〒001-0012 札幌市北区北十二条西3-1-15 N12ビル 3F TEL011-788-3012

21世紀の新しい印刷産業を探究

☆求めるのは☆

『驚きと感動のものづくり』

情報価値創造企業の実現をお手伝い

国内外のトップメーカーを知り尽くした

フカミヤが納得のネットワークシステムをご提案

印刷機材の総合ディーラー

株式会社 フカミヤ 札幌市中央区大通西8丁目
電話 011-231-7147

令和2年度下期北海道地区印刷協議会開催

令和2年度下期北海道地区印刷協議会が、3月5日午後2時から、札幌市中央区の札幌パークホテルで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、会場参加とオンライン参加のハイブリット型で30余人が出席して開催された。

理事長あいさつ

最初に、岸昌洋理事長が、「下期北海道地区印刷協議会を、残念であります。コロナ禍ということで本当であればこれからあいさつをいただく瀬田副会長、鳥原副会長、池尻専務理事、福田委員長には来道していただきたかったが、会場参加とオンライン参加のハイブリットというかたちで行わせていただきます。

先ほど理事会にて協議を行いました。いろいろなスケジュール・予定があるなか、このような情勢・状況下ということで状況を見ながらさまざまな判断をしていくこととなります。去年はHOPEが開催できず、今年も新年交礼会が開催できませんでしたが、次年度は状況を見てということになります。HOPEは是非開催していきたい。それと来年になりますが新年交礼会も開催をさせていただければと考えています。この状況下で昨年11月には、北海道印刷工業組合が80周年行事を行わせていただけたことは、皆さんの協力の賜であり、改めてこの場を借りてお礼申し上げます。こういう情勢下であります。組合としてさまざまな取組を行っていきます。それらについて瀬田副会長、鳥原副会長、池尻専務理事と、今回の目玉というのが福田委員長より説明いただく全印工連のDX事業であります。我々が世の中の潮流にどう合わせてデジタル化を創出していくのかという取組です。我々も肅々と取り組んでいきたいと思っております」とあいさつを述べた。



全印工連あいさつ

次に、全印工連の瀬田章弘副会長と鳥原久資副会長から、あいさつが行われた。

瀬田副会長は、「本日はそちらにお伺いしたかったが、東京は緊急事態宣言中であり、おそらく今日から2週間延長されるという状況を鑑みて東京新富町の日本印刷会館から参加させていただく。皆さんコロナ禍で大変苦勞が多いかと思う。殆どの組合員の皆さんが今本当に厳しいと思う。そのなかで全印工連としてはやれることは全部やろうという会長の指示の下、実際に集まって会食はできないが、できることは例年以上に施策を実行していこうということで1年動いている。特に本年度は各県工組にコロナ禍の支援ということで一律10万円を配布した。また、地区協の運営強化の助成金として各地区協にも助成金を贈らせていただいている。全国の皆さんにいろいろな事業を提供できることはないかということで、オンラインを利用して幸せな働き方改革のステップ2からステップ5まで完成し、配信を間もなくスタートする。一方、東京都印刷工業組合には

情報が集まってくるので、東京都印刷工業組合で主催するセミナーはできる限り無料配信をさせていただいている。先日、経営革新マーケティング委員会主催で行った、ユニクロや楽天などのロゴを創り、デザイン経営をされている佐藤可士和氏のセミナーは約1,400人の方が視聴された。また、全印工連の特別ライセンスプログラムも非常に皆さんに活用いただき目標を上回る申し込みがある。次年度事業について各委員長と協議を進めているが、次年度も今年度同様、人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業というスローガンを掲げ、その目標に向かってさまざまな事業を考えている。特に、デジタルトランスフォーメーション、それから幸せな働き方改革を両輪として事業を進めていく。デジタルトランスフォーメーションについては、後ほど福田委員長から説明があるが、今いろいろなところで話をすると、設備の稼働率が上がらないと嘆かわしい話をする。そのなかで各社がするべきところに経営資源を集中し、違うものは仲間に任せる。そして生産性を高めて、その力を持ってソリューションプロバイダーへとさらに進化していこうという大変重要な事業と考えている。このようなコロナ禍の時期なので社員の皆さんにさらに勉強していただいて次の時代へとレベルアップしてもらいたい。そういう意味で教育動画の配信プログラムも皆さんがさらに使いやすい、いつでもどこでも視聴していただけるプラットフォームづくりに着手している。さらに各社高齢化が進んでいるので介護と仕事の両立が課題になっている。これは我々の事業にとってますます大きな課題になってくる。そういったなかで社員の方も安心して介護ができて会社も経営が上手くいくように介護共済を4月からスタートすることになった。是非これらの情報をキャッチして活用いただければと思う。また各委員会できざまな事業の企画をしているが、是非、北海道の皆さんから現場の意見を聞かせていただいて全印工連4,300社が風通し良く、すぐ実行できるような組織を目指して、共に参りたいと思っている」と述べた。

鳥原副会長は、「4年ほど前に1月に北海道へお邪魔して自社のCSRの話をさせていただく機会があった。その時はありがとうございました。今日は大変な状況のなかでも、皆さんが集まっているということ聞き素晴らしいことだと思ってる。地区協はなかなかリアルでできないので時間があれば参加させていただき、皆さんの息遣いを肌で感じたいと思っている。なかなか思うような活動ができないと思うが、愛知でもリモートの会議をどんどんやっているの、逆転の発想でやれるところからどんどんやって、組合員の方に喜んでいただいて業界を盛り上げていきたいと思っている。福田委員長の話を前向きに捉えていただき、皆さんの会社・業界の発展のために、是非、皆さん手に手を取り合っていただきたいと思う」と述べた。

全印工連事業概況説明

次に、池尻淳一専務理事から、全印工連事業概況について、①新型コロナウイルス感染拡大の対応、②官公需対策、③広報戦略推進「大喜利印刷店(展)」の企画・開催、④幸せな働き方改革「STEP2～5」のビデオ制作・公開を中心に説明が行われた。

全印連DX事業の推進

つづいて、福田浩志DX推進プロジェクトチーム委員長から、全印工連DX事業の推進について、「今年から全印工連で取り組んでいるデジタルトランスフォーメーション(DX)事業は簡単に言うと組合員企業に安価でシステムを提供することである。経済産業省が日本の中小業政策の

根幹として出しているDXの定義は『企業がビジネス環境の厳しい変化に対応し、データやデジタル技術を活用して顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに業務そのもの、組織、プロセス、事業文化、風土を変革し、競争上の優位を獲得すること』としている。DXは単にデジタル化することではなく、デジタル化は手段であり、デジタル技術や産業構造を変革することである。全印工連では印刷産業におけるDXの定義を『デジタル技術とデータの活用により、印刷産業の抱える諸問題を改善し、生産の効率化やビジネスモデルの変革を促進することで印刷産業全体の構造改革をもたらし、印刷産業が光り輝く産業として変貌を遂げ、HAPPY INDUSTRYとなること』としている。現状を放置するとマーケットの縮小に伴って業者は減り、1社1社の規模も小さくなり、マーケットサイズとともに付加価値も減少してしまう。印刷市場は慢性的な供給過剰状態により大規模生産能力型の企業はさらに生産能力を向上して寡占化していくのに対し、付加価値の高い受注ルートは破壊され、印刷産業が創出してきた付加価値額が減少することになる。それぞれの企業が個々の経営資源を得意分野に集中することができたら付加価値を増大させ、情報サービス産業への転換が図れる。大規模高生産能力型、小規模サービス製造併用型、小規模サービス特化型の企業がそれぞれの得意分野に経営資源を集中し、生産を主に行う企業、付加価値サービスを提供する特化型の企業に分かれていけば付加価値が増大していく。印刷産業全体を成長させるためには小規模サービス製造併用型の企業を小規模サービス特化型に移行させ、製造は大規模能力高生産型の企業に任せ、産業全体としての生産性を向上させ、付加価値の源泉を育成していくことが必要になる。付加価値を増大させ、情報サービス産業への転換は無策のままではできない。そのためにDXの導入が必要になる。高付加価値情報サービス産業への転換にはDXの導入が必要になる。そのために協調による生産集約が不可欠となり、過剰設備の解消、生産協調、共同購入などが可能となる。DXによる生産協調により生産縮小・サービス特化する企業は顧客接点を最大化することに経営資源を投下することができる。その経営資源を利用して高付加価値を創出していく。生産に経営資源を投下していく企業はさらなる生産性向上のためスマートファクトリー化を目指せる。そのため全印工連DXシステム『DX-Plat』を開発し、今年から実証実験を開始していく」と説明した。

委員会報告

次に、各委員会の活動状況について委員長から報告が行われた。

▶組織共済委員会(植平有治委員長)

北印工組の組織共済委員会は3月1日に開催した。各共済制度の加入状況では、生命共済が91社中18社加入で全国目標の35%に届かないが20%になった。設備共済は91社中10社加入で11%、医療がん共済は役員17名中9人加入で53%となった。組合員台帳調査の提出結果は、2年に1回で今回は91社中89社が提出していただき97.8%という今までかつてない数字となった。前回は93.8%、その前は74.8%である。目標は100%であるのであと2社次回は増やしていきたいと思っている。共済加入キャンペーンの地区選定では、今期北海道が加入拡大の重点工組になっているので来期は該当しないが、重点工組だけがキャンペーンをやるのではなく、全国の都道府県全体で毎年行わなければならない。共済加入はなかなか難しい問題であるが、全国目標の加入率35%を目指して進めていかなければならない。組合加入の促進は、今期は組

会員91社、前期も91社、増減ゼロで安堵していたが、先ほどの理事会で来年度は2社が減るといことで、折角ゼロになったがまたマイナスになってしまうので、ゼロに戻すため増やす運動を続けていかなければならない。加入している組合員がメリットを良く理解して宣伝していくしかないと思っている。大変な時代で皆さん苦勞して事業を続けていると思うが、組合があつて数は力なりであるので、組合員を1社でも多くしていくことが常である。組合を脱退され方に戻ってもらう努力を1社1社に話をしてやっていくことを考えている。

▶経営革新マーケティング委員会(岡部信吾委員長)

北印工組の経営革新マーケティング委員会は2月25日に開催した。全国向けセミナーのWEB配信では、10月から2月まで5回、月1回のペースでセミナーを開催し、全国からの参加者が増えてきている。組合からメルマガでセミナーの案内があるので、まだメルマガを登録していない人は登録してほしい。第9期勝ち残り合宿ゼミは、2月に開催予定をしていたがコロナウイルスの感染予防ということで開催が延期になった。開催時期についてはまだ目途が経っていない。コロナウイルスの感染状況が落ち着き次第案内があるので興味のある方は参加していただきたい。委員会の数値目標に関しては、事業承継支援センターの相談件数が2件という数値目標があるが前期からゼロ件が続いている。事業承継の相談がある方は是非センターの活用をお願いしたい。事業承継セミナーは、昨年度の総会前に基礎編のセミナーを開催した。昨年度聞いたセミナーの実践編もあるのでこちらも開催できるように努めていきたい。全国向けのセミナーを随時開催していく予定なので参加をお願いしたい。事業承継については、支援センター・ガイドブック・セミナーと3つのメニューがあるので検討・活用していただきたい。委員会に室蘭の北海印刷がメンバーでいて、センターの活用ではなかったが、商工会議所の関係で北海印刷が鶴川の清文堂印刷を傘下にしたということで、経産局のセミナーで来週話をするということであった。共創ネットワーク通信は、自社の製品・サービスを全国4千社の組合員に紹介できるメルマガになっていて、掲載後の反響が多いということなので、メルマガをまだ登録されていない方は全印工連のHPから登録できるので登録してほしい。CSR認定制度は、地域に密着して顧客・社会から必要とされるパートナーに成長するために全印工連が認定する制度になっている。33期目のワンスターの認定申込が4月30日までになっているので取得を検討される方は申し込みをしてほしい。

▶教育研修委員会(西山真委員長)

2020年度特別ライセンスプログラムは、北海道は目標4本に対し実績7本で3本増となっている。北海道全体では128本となっている。技能検定プリプレス職種DTP作業の受検者数は、北海道は1級が1名、2級が1名で合格発表は3月19日の予定となっている。IT人材育成に向けた教育動画チャンネルの構築は、全印工連はこれまでV-CUBUによるセミナーで動画配信を行ってきたが、これに代わり2021年3月から「印カレ～全印工連の学んで得するTV～」として配信する。印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験は、北海道は来年度開催しない。総合求人サイト「イーアイデム」組合員向け得別プランを用意しているので活用をお願いしたい。技能検定プリプレス職種DTP作業の受験者増に向けた取組は、今年は106名で昨年より13名減っていて、100名を切ると技能検定の改廃にもつながるので、オペレーターの能力の目安となるので是非受検をお願いしたい。全印工連特別ライセンスプログラムの周知・普及は、現契約期間は2022

年11月30日までとなっていて、有利な価格となっているので一層の周知を図っていきたい。

▶環境労務委員会(大和繁樹委員長)

知らなかったでは済まされない働き方改革労働法と労働基準法改正セミナーと幸せな働き方改革セミナーステップ2～ステップ5まで映像化して視聴できるよう準備を進めている。36協定届の様式が4月から新しくなる。今までは会社と労働者代表の捺印があつて労基に提出していたが、捺印が不要になる。署名・捺印が不要ということで会社側が勝手に出せるという状況が出て来るが、実際には労働者との協定が必要になるので手間が増える。中小印刷業向けモデル就業規則を今年7月に発行できるよう準備を進めている。グリーンプリンティング認定工場、環境推進工場登録を1社でも多く取っていただきたいので支部長は各支部で周知をお願いしたい。「北海道の印刷」等で周知しているVOC警報装置を印刷機に取り付けて活用をお願いしたい。

▶青年部委員会(矢吹英俊委員長)

青年部委員会は全青協の事業に連動して動いている。全青協は今年度、四方良しのデザインというテーマで動いている。四方良しは三方良しに未来志向を加えた形になっている。未来を創る上で新たな価値創造の力をつけないとならないということで、昨年10月10日に開催した北海道ブロック協議会では、デザイン思考を学んだ。デザイン思考とはデザイナーの考え方から問題の原因を見つけたい。原因から解決方法を取り組んでいくという考え方である。2月6日に全国協議会が行われ、今回はコロナの影響もありオンライン協議会となった。例年は交通費の関係で北海道から2人参加しているが、オンラインだと人数制限がなく今回北海道からは3人参加することができた。オンラインの全国協議会では、全国の青年部から上がってきた疑問点などについて瀬田副会長、江森常務理事と今井議長の3人のパネルディスカッションで答えていただいた。講演で慶応大学の井庭教授にパターン・ランゲージについて講演を行っていただいた。パターン・ランゲージは問題解決方法を名前と付けて言語化することによって共有化したりチームで取り組んだりできる内容であった。全青協では来期1年間パターン・ランゲージを学んでいくことになったので、北海道でも1年間パターン・ランゲージの勉強をしていくことになる。

令和3年度北海道印刷工業組合札幌支部通常総会の中止について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、組合事業推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先般、令和3年度北海道印刷工業組合札幌支部通常総会を、4月16日に開催する予定でしたが、市内の感染状況は、変異株の影響もあり、新規感染者数が道の警戒ステージ4の水準まで上昇しており、予断を許さない状況です。

札幌市は、「市内における不要不急の外出自粛」「市外との不要不急の往来の自粛」の協力要請が出されました。さらなる感染の急速な拡大を防ぐため、誠に残念ですが、開催を中止とさせていただきます。

何卒、事情をご賢察いただき、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

敬具

全印工連CSR認定のご案内

— 第33期ワンスター認定募集（2021年4月30日〆） —

CSRは、企業が社会から信頼され魅力ある会社となるための企業戦略・成長戦略であり、地域密着型の中小印刷業においては優秀な人材の確保や企業ブランドの確立、顧客や金融機関による企業評価の向上等につながり、持続可能な経営に寄与するものです。

全日本印刷工業組合連合会（以下、全印工連）では、CSR研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授監修のもと中小印刷業CSR規格を策定し、企業のCSR認定に取り組んでいますので、これからCSRに取り組む企業様も既に取り組まれている企業様もCSR認定をご活用くださいますよう、ご案内申し上げます。（**2020年12月現在CSR認定企業は125社**）

応募資格

全印工連CSR認定規格が定めるCSRの取り組みを行う企業

募集期間

2021年2月1日（月）～4月30日（金） ※ 2021年6月認定登録（予定）

申請書類

応募申込書の到着後、全印工連より申請書類をお送りいたしますので、次の①～⑤を提出して下さい。

- ① CSR取り組み項目チェックリスト
- ② 法令遵守宣誓書（所定様式）
- ③ 納税証明書（税務署が交付した証明書）
- ④ 過去3年の行政処分がないことの宣誓書（所定様式）
- ⑤ 添付書類（CSR取り組み項目チェックリストでチェックした項目を証明する書類）

認定の概要

ワンスター認定はCSR認定の標準認定であり、審査機関のCSR&サステナビリティセンターが書類審査を実施し、外部の有識者で構成する全印工連CSR認定委員会において認定します。認定企業は、CSRマークを自社の名刺やホームページ、顧客の印刷製品に表示する

ことができます。認定取得後は2年毎に更新審査を行い、上位認定であるツースター認定を取得することも可能です。

ワンスター認定
CSRマーク



P-00000



認定費用

（単位：円・税別）

従業員数	1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～99	100～199	200～299	300～
組合員	50,000	55,000	60,000	70,000	80,000	90,000	100,000	110,000	120,000
組合員外	100,000	110,000	120,000	140,000	160,000	180,000	200,000	220,000	240,000

※認定費用は従業員規模により異なります。従業員数には従業員のほか役員も含まれます。

お問合せ

全印工連CSR認定事務局 TEL:03-3552-4571 e-mail:csr@aj-pia.or.jp

詳細はホームページをご覧ください

[全印工連CSR](#)

[検索](#)



会社の未来、私たちと一緒に考えませんか？

全印工連事業承継 支援センター

お気軽に相談できること、ご存知でしたか？

全印工連
組合員

無料相談＋秘密厳守



こんなことにお悩みではありませんか？

TROUBLE

01

親族内への承継に
悩んでいる方

TROUBLE

02

明確な後継者が
いない方

TROUBLE

03

会社の将来について
不安がある方

TROUBLE

04

他社との提携や買収を
考えている方

相談内容例

- **事業承継の進め方**は、なんとなく決めているが、経済的にも大きな影響があるため、**注意点**があれば教えて欲しい。
- セミナーを聞いて、**事業承継の方法**が様々あることが分かった。では結局、**弊社にとって何が最適か？**ぜひ提案して欲しい。
- **株が分散**しており、**自分の代で集約**を検討したい。何か**支援頂けることは無いか？**
- まだ若いので、**事業拡大を積極的にやっていきたい**。事業の**引受手**を考えている企業があれば、関心があるので**紹介して欲しい**。
- **後継者がいない**ので、従業員に継がせるか、どうするか迷っている。ひとりで悩んでいるので**相談ののって貰えないか？**
- 売り上げも下がり、**将来の見通しは決して明るくない**。**M&Aの可能性があれば進めたい**と思っているが、どうしたら良いか？
- 知人の社長から「**会社を買って欲しい**」と声掛けを受けた。進めてみようと思っているが、**専門家に相談したい**。

全印工連「事業承継支援センター」ご利用者様の声



丁寧な説明で不安は解消。

M&Aのご相談をさせて頂きましたが、初めは、引き取り手がいるか、会社の情報が守られるのか、心配もありました。ただ、私の気持ちを汲んで頂きながら、十分な時間をかけて頂いたことで、前向きに進めることができたと思います。お陰様で希望条件通りのお相手に引き継ぐことができました。ありがとうございました。自分一人で悩んでも解決しなかったと思うので、勇気を持って相談して良かったと思います。



あらゆるパターンを検討して、後悔のない事業承継を実現。

事業承継については、特に具体的に考えても居ませんでした。セミナーをきっかけに早めに着手すべきと思い、ご相談しました。セミナーでは全ては理解できませんでしたが、ご相談させて頂き、弊社にとっての会社の引き継ぎパターンについてわかりやすく説明して頂きました。色々とコミュニケーション、議論したことで、満足いく承継ができたと思っています。



想定外のマッチングに満足。

今後の成長余地のある新規事業を模索しており、事業承継支援センターに買取ニーズ登録しました。私自身もどんな会社が良いか漠然としており、正直ダメで元々との思いでの登録だったのですが、その後紹介して頂いた会社がとてもニーズに合致する会社でした。考えたこともなかったマッチングに驚いています。M&Aは初めてでしたが、丁寧に進めて頂き、大変感謝しております。

詳しくは裏面をご覧ください!!

印刷会社の“永続的な”事業運営をサポートいたします。



**納得感ある
事業承継**

特定の後継者、第三者への承継両面に対応出来ます。
様々な可能性を比較しながら検討でき、
納得感が違います。



**リーズナブルな
価格**

ご相談は無料です。組合員様限定で、
ご利用しやすいリーズナブルな特典価格にて
ご提供させていただきます。

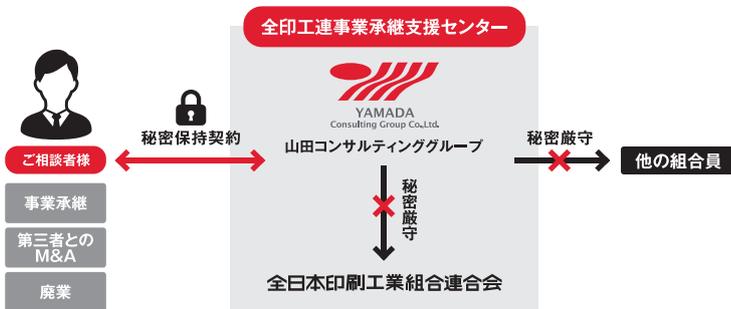


**サービスへの
安心感**

専門家としての手続きに則りきっちりと
ご支援します。いただいた情報は秘密厳守で
取り扱い、個別情報が洩れることはありません。

全印工連「事業承継支援センター」とは？

全日本印刷工業組合連合会(略称:全印工連)では、印刷業界が今後発展していくために、組合員企業の“永続的な”事業運営が重要であると考え、2017年3月に「事業承継支援センター」を開設しました。本センターでは、組合員企業の事業承継に関する課題や問題点を解決することを役割として、皆様の課題解決をお手伝いします。本センターは、全印工連と業務提携を結んだ山田コンサルティンググループ株式会社が運営を担っています。相談内容について、組合および他の組合員に情報が漏れることはありません。



ご相談の流れ

- 01 ご相談の予約**
お問い合わせフォームに必要事項を入力して送信いただくか、下記フリーダイヤルへお電話ください。
- 02 ご相談**
お電話またはご面談にてご相談内容の詳細や現在の状況をヒアリングさせていただきます。
※折り返してお電話させていただく場合、取り次ぐ方がいらっしゃる可能性に配慮して、「山田コンサルティンググループの〇〇」と名乗らせていただきますので、ご注意ください。
- 03 ご提案**
必要資料をいただいてから、約1週間～1か月程度を目安にご提案内容とお見積りを提出いたします。
- 04 実行支援**
ご提案内容に内諾いただけましたら、正式にご契約いただき、実行支援を開始いたします。

ご提案
まで
無料

組合員特典価格
にてご提案

ご提供するサービス内容と費用

無料 事業承継・M&A全般に関するご相談対応、事業承継方針についてのアドバイス

役務内容	事業承継コンサルティング(親族内や役員・従業員への承継を検討される方)		M&Aアドバイザー(第三者への承継を検討される方)		
	株価算定、株式、事業の移転計画、相続税・贈与税を考慮したタックスプランニング、納税資金の調達などを支援いたします。		戦略策定・スキームの検討から候補先の選定、条件交渉や契約書作成の支援、決済、税務対応まで、M&Aの実行をワンストップでサポートします。		
	初期検討 ・株価算定サービス ・承継方針案のご提示 ・お打合せ	本格検討 ・スキーム検討 ・実行支援	着手金	月次報酬	成功報酬
通常価格	50万円～	内容に応じてご提示	100万円～	30万円～	内容に応じてご提示
全印工連 組合員特典	無料	組合員特典価格にて ご提案	50万円(一律)	無料	組合員特別価格 にてご提案

運営会社の会社概要

商号: 山田コンサルティンググループ株式会社
 英語名: YAMADA Consulting Group Co., Ltd.
 設立: 1989年7月10日
 本店: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目8番1号
 丸の内トラストタワーN館10階(受付9階)
 代表取締役会長: 山田 淳一郎
 代表取締役社長: 増田 慶作
 上場取引所: 東京証券取引所 市場第一部(証券コード: 4792)
 ホームページURL: <https://www.yamada-cg.co.jp/>

事業内容: 事業承継・M&A事業 / 経営コンサルティング事業 / 組織・人事コンサルティング事業 / 海外事業コンサルティング事業 / 株式報酬コンサルティング事業 / 医療・介護・福祉事業者向けコンサルティング事業 / 事業再生コンサルティング事業 / 不動産コンサルティング事業 / 相続手続きサポート事業 / 教育・研修事業

詳しくは下記へお問い合わせください

全印工連 [全日本印刷工業
組合連合会]
事業承継支援センター

0120-901-807

お問い合わせフォームは以下のURLより

※平日10:00～18:00 ※土日祝除く

<https://www.ycg-advisory.jp/ajpia/>



賞状 SYOUBUNSYA
CREATED BY **INET**

賞状や感謝状、学位記等が、簡単にスピーディに作成いただけます。是非、ご利用ください。
<http://www.syoujyou.biz/>

株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581
<http://www.syoubunsysa.co.jp>

ISO 9001:2015
ISO 14001:2015
CSR

編集後記

2021年度がスタートいたしました。昨年度は予想もしていなかったことがたくさんあり、我慢の1年でした。今年度は少しずつ今までの活動ができたらいいなと思います。

札幌支部 事務局 五十嵐

RICOH
imagine. change.

RICOH Pro C7200s / C7210s

ビジネスを変革する
この表現力
ホワイトやクリア印刷を可能に

リコージャパン株式会社
札幌市北区北7条西2-8-1 札幌北ビル
TEL: 011-700-5505 FAX: 011-700-5532

「伝える」チカラ。

- ビジネスフォーム ●平版印刷 ●製本 ●OCR ●カーボン複写伝票
- 一般事務用印刷物 ●オンデマンド印刷 ●新聞 ●記念誌 ●各種テキスト
- パンフレット ●チラシ ●ラミネート ●印刷デザイン各種 ●ホームページ作成

PASCAL
株式会社パスカール・プリンティング
<http://www.pascal-printing.com/>

□[本社・工場] 〒063-0836 札幌市西区発寒16条14丁目4番5号
TEL.011-663-9101 FAX.011-662-8304

ペーパー&プリントシステム

サクマ
株式会社 サクマ

- 印刷用紙・特殊用紙・板紙 ●製袋・製函・型抜き・合紙・各種加工

本社 〒060-0051 札幌市中央区南1条東4丁目
TEL 011-231-5633 FAX 011-231-5639
受注専用 フリーダイヤルFAX 0120-390255

東営業所 〒003-0012 札幌市白石区中央2条2丁目
TEL 011-842-0022 FAX 011-841-0380

西営業所 〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目
TEL 011-631-4181 FAX 011-631-4184

加工事業部 〒003-0012 札幌市白石区中央2条2丁目
TEL 011-824-2211 FAX 011-824-2245

ペーパーショップ 〒006-0051 札幌市中央区南1条東4丁目
TEL 011-210-8401 FAX 011-210-8420

あらゆる媒体への印刷を可能に…

プラスチックカードのことなら
バーコード・エンコード
入出力対応!
短期・印刷態勢完備!

- プリペイドカード
- 磁気入プラスチックカード
- プラスチックIDカード
- IC (RFID) カード

FSC 福井商会株式会社
〒003-0029 札幌市白石区平和通8丁目北6-11 TEL.(011)861-6830 FAX.(011)863-1528
E-mail: info@fukui-shoukai.co.jp URL: <http://www.fukui-shoukai.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

FFGSは、
戦略的「省資源」で、
トータルコストダウンを
支援いたします。

「減らす」がつくる、クオリティ

FUJIFILM SUPERIA

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)
北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西六丁目1番地 富士フイルム札幌ビル 011(241)9325

RMGT

ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
東日本支社 札幌支店 〒062-0937 北海道札幌市豊平区平岸七条 14-3-48
TEL 011-831-2501 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

人とのつながりを
「カタチ」に。

GREEN PRINTING APPS F-B10056 CSR P-00013 JPS JP10171(1)

印刷製品 PRINT 各種印刷物の 製造・販売	O A 機器 EQUIPMENT OA機器・トナー 各種事務用品販売	紙製品 PAPER SUPPLIES コピー用紙・ロール紙等の 紙製品の販売
----------------------------------	---	---

ITC SUPPLY
ITS

株式会社 **アイテックサプライ**
札幌市東区北10条東2丁目 三上ビル3F
TEL(011)748-3777 FAX(011)748-3778
印刷工場 / 札幌市東区北36条東26丁目2-39

創造と提案、そして前進。

大丸

大丸株式会社 本社 / 札幌市白石区菊水3条1丁目8番20号
☎(011)818-2111 (代表)

代表取締役社長 藤井 敬一

札幌 紙・板紙営業部 / 包装資材営業部 / 包装システム営業部
オフィスサプライ営業部 / ステーションナリー営業部
量販営業部 / 直需営業部 / 公共営業部

支店 道北(旭川) / 道東(帯広) / 道南(函館) / 青森 / 東京

多言語対応電子配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆるコンテンツを多言語化し、スマートフォンやタブレット端末に向けて、配信するクラウドサービスです。

詳しくは、
エムシーカタログ

www.morisawa.co.jp **モリサワ**

環境保全のための
社会貢献を致します

—産業廃棄物処理業許可—

株式会社 リプロワーク

本社・工場 / 石狩市新港中央3丁目750番3
TEL(0133)64-4311(代) FAX(0133)64-4312
北見営業所 / 北見市豊地22-5
TEL(0157)36-0182・FAX(0157)36-0192

スクリーン印刷 ステッカー、プラスチック加工品、POP
スクラッチ、UV印刷、点字印刷

ラミネート加工 バンフ、パッケージなどに●確かな技術
種類・スピード●名刺大からL全判まで

サイン工事 店舗、商業施設の屋内外サインの他、
自立看板、壁面看板などの製作施行まで

TOKUIN 株式会社 特殊印刷
TEL(011) 811-1735
FAX(011)822-1135
札幌市豊平区豊平6条3丁目4-25

General trading company of
printing equipment

人と地球に優しい環境負荷低減をお手伝いします

共同印刷機材株式会社

本社 〒060-0001 札幌市中央区北1条西18丁目
TEL.011-611-7221 FAX.011-611-7224
函館出張所 〒040-0041 函館市栄町2番5号 TEL.0138-23-5832
旭川出張所 〒078-8218 旭川市8条20丁目左9号 TEL.0166-35-8668

ラミネートのことならホクラミへ

ラミネート加工

プリントサービス

ノベルティ製作

株式会社 **ホクラミ** FAX(011)512-4289
TEL(011) 512-3378 E-Mail:hokurami@h-ls.com
札幌市中央区南9条西12丁目2番30号

http://www.h-ls.com |ホクラミ| 検索

HKM
PAPER TRADING COMPANY

エイチケイエム紙商事株式会社
http://www.hk-m.co.jp

〒006-0832 札幌市手稲区曙2条4丁目3-27 Tel.011-699-8686

洋紙事業部 / 製本事業部
旭川支店 / 室蘭営業所 / 帯広営業所
関連会社：森田運輸倉庫株式会社 (札幌市手稲区 / 旭川市永山北)